

# AIDS UPDATE

No.39 2003.6.11

広島大学医学部附属病院

エイズ医療対策室

内線5581（輸血部長室）

Internet: [www.aids-chushi.or.jp](http://www.aids-chushi.or.jp)

## 厚労省エイズ対策研究事業 「HIV感染症の医療体制に関する研究班」 総合研究報告書

厚労省科研補助金による研究班は3年が一区切りです。国立大阪病院的白阪琢磨医長を主任研究者とした研究班が出した3年分のまとめです。

2010年の日本のHIV感染者・エイズ発病者は50000人と推定されています。研究班で実施したエイズ拠点病院のアンケートからでは、診療受け入れ可能患者数は約20000人です。一人の専門医が100人の患者・感染者の管理にあたるとして、500人必要だということになります。

最も困難な事例は外国人医療であり、医療通訳、相談へのアクセス、緊急医療などが緊急に整備すべき課題として浮かび上がっていることが述べられています。

中四国ブロックの年次報告書と、6年間の報告書は、「中四国エイズセンター」のHPに掲載しています。ダウンロードしてご利用下さい。

<http://www.aids-chushi.or.jp/c6/hokoku/houkoku2003.html>

## 厚労省エイズ対策研究事業 「抗HIV治療ガイドライン 2003年版」

<http://api-net.jfap.or.jp/siryou/guideline/2003guideline.pdf>

HIV感染症の治療は年々着実に進歩しています。そのため古い治療指針によって治療を行うと、患者さんにとって不都合が発生する可能性もあります。本書は2003年3月の時点でベストと思われるガイドラインと、その説明をわかりやすく述べたものです。

部数の都合から、すべての部局には配布できませんでした。しかし、どなたでも上記URLからダウンロードできます。(2034KB、83ページ、カラー)

## 広島エイズダイアル講演会

日時：2003年7月6日(日)13:00-16:00

場所：広島市留学生会館(南区西荒神町1-1)

内容：「HIV感染者の現状」

講師：HIV感染者の方、高田 昇（広大病院）

参加費：無料

問合せ：広島エイズダイアル（TEL:082-541-0812）

e-mail：[had-0812@ddt.or.jp](mailto:had-0812@ddt.or.jp)

URL：<http://www.ddt.or.jp/~had-0812>



## <ご意見募集>

「AIDS UPDATE」は今後も不定期に発行します。ご意見やご希望がありましたら輸血部までお寄せ下さい。 [TAKATA, OE]

[takata@aid-chushi.or.jp](mailto:takata@aid-chushi.or.jp)